



株主の皆様へ

三菱地所株式会社

2010年度(中間)

自2010年4月1日 至2010年9月30日

1 株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2010年度第2四半期(累計期間(以下同様) / 自2010年4月1日至2010年9月30日)における当社グループの事業概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期の我が国経済は、持ち直しの動きが続いているものの、米欧を中心とした海外景気の下振れ懸念や為替の変動等により、回復の勢いが鈍りつつあります。家計部門については、雇用情勢の改善ペースは依然緩やかであるものの、政策効果により個人消費が持ち直しております。一方、企業収益を取り巻く環境については、設備投資も底を打ち、業況判断も改善しておりますが、輸出の勢いは鈍化しており生産も弱含むなど、下振れ懸念も残されております。

当不動産業界においては、分譲マンション市場では価格調整の進展や政策効果により契約率が好調に推移するなど順調に回復しております。不動産投資市場ではJ-REIT(日本版不動産投資信託)市場において公募増資や投資法人債の発行が見られるなど、資金調達環境は改善しており、今後も回復に向けた動きが継続すると考えられます。オフィスビル賃貸市場では一部に改善の動きが見られるものの、都心空室率は依然として高水準で推移しており、今後も注視していく必要があります。

このような事業環境下でありまして、当第2四半期の当社グループの業績は、ビル事業、資産開発事業、海外事業、注文住宅事業等が増収となった一方、住宅事業、設計監理事業等が減収となり、営業収益は4,309億円で前年同期と比べ10億円(0.2%)の増収、営業利益は756億円で165億円(28.1%)の増益、経常利益は614億円で201億円(48.9%)の増益となりました。また、特別損益においては、減損損失21億円及びエクイティ出資評価損13億円を特別損失として計上致しました結果、当第2四半期純利益は287億円となり、前年同期比で87億円(44.1%)の増益となりました。

当社の利益配分につきましては、丸の内再構築をはじめとする今後の事業展開に伴う資金需要等にも配慮しつつ、配当を中心に、株主の皆様に対する安定的な利益還元に努めていくことを利益配分の基本方針とした上で、当社グループの業績の水準等を総合的に勘案し、連結配当性向25～30%程度を目処として決定していきたいと考えており、2010年度中間配当金につきましては、前年同期と同様1株につき6円と決定させていただきました。

今後の経済情勢としましては、一部に不透明感は見られるものの海外経済は緩やかに回復することが見込まれるため、外需が堅調に推移し、日本経済全体としても緩やかながら持ち直しの傾向が続くことが期待されます。一方、米国における雇用情勢の回復の遅れや欧州の財政悪化懸念により海外経済が再び低迷するリスクのほか、円高の影響による企業収益の悪化など懸念材料も残っており、予断を許さない状況が続くと思われれます。こうした中、当社グループでは、2011年1月に予定している会社分割の手法を用いた当社グループ内3社の住宅分譲事業の統合により、製販一体の体制整備を進めると共に、展開するすべての事業において、経営環境の変動、市場の変化に的確に対応し、経営の効率化、収益力の強化を図って参る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何卒倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2010年12月

取締役社長 木村 恵司

ビル事業

昨年4月に竣工した「丸の内パークビル」の収益等が寄与したことにより、建物賃貸収益が前年同期に比べ増収となったほか、ビル運営管理受託収益や地域冷暖房事業収益等も増収となりました。その結果、ビル事業全体では前年同期に比べ増収増益となりました。

住宅事業

当社及び連結子会社である藤和不動産(株)において、「MID OASIS TOWERS(ミッドオアシスタワーズ)」、「パークハウス杉並高井戸」、「BELISTA西巢鴨」、「BELISTA志木」等を売上計上しましたが、売上計上戸数が前年同期に比べ減少したため、マンション事業収益が減収となりました。その結果、住宅事業全体では前年同期に比べ減収となりましたが、昨年営業損失であった当社が営業利益を計上したこと等により、増益となりました。

資産開発事業

昨年7月に竣工した「二番町センタービル」の収益等が寄与したことにより、エクイティ等投資収益が前年同期に比べ増収となったほか、フィー収入も増収となりました。その結果、資産開発事業全体では前年同期に比べ増収増益となりました。

海外事業

米国の各都市や英国ロンドン市における保有資産が安定的に稼働したほか、米国カリフォルニア州において物件売却が実現したこと等により不動産開発・賃貸収益が前年同期に比べ増収となり、また、その他収益(不動産投資マネジメント事業収益等)の増収もあって、海外事業全体では前年同期に比べ増収増益となりました。

設計監理事業

(株)三菱地所設計において、「JXビル」、「豊洲フロント」等の設計監理業務他を売上計上したほか、(株)メック・デザイン・インターナショナルにおいて、当社の所有ビル、分譲マンション等の内装工事請負等の売上を計上致しましたが、売上件数の減少により設計監理収益及び内装工事収益共に前年同期に比べ減収となったことから、設計監理事業全体では減収となり、営業損益も損失計上となりました。

注文住宅事業

三菱地所ホーム(株)において、「三菱ホーム」の受注活動に注力し、一般注文住宅の受注件数・売上件数は共に前年同期を上回りました。また、請負事業は売上件数の増加により増収となりました。その結果、注文住宅事業全体では増収となりましたが、営業損益は前年同期に比べ改善したものの、損失計上となりました。

ホテル事業

ホテル事業統括会社である(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツを中心に「ロイヤルパークホテルズ」のブランド名で展開するホテル事業は、宿泊部門等で前年同期に比べ増収となったものの、宴会部門等で減収となったことから、ホテル事業全体の営業収益は前年同期並みとなり、営業損益は前年同期に比べ改善したものの、損失計上となりました。

不動産サービス事業

三菱地所リアルエステートサービス(株)において、住宅販売受託収益及び不動産仲介収益共に取扱件数が増加したことにより前年同期に比べ増収となりました。その結果、不動産サービス事業全体では増収となりましたが、営業損益は前年同期に比べ改善したものの、損失計上となりました。

その他の事業

その他の事業としては、メック情報開発(株)(情報システムの保守・管理)、京葉土地開発(株)(商業施設の所有及び賃貸)等の売上を計上しており、前年同期に比べ減収減益となりました。

各セグメントの業績 当第2四半期連結累計期間(自2010年4月1日 至2010年9月30日)

(単位 百万円)

	ビル事業	住宅事業	資産開発事業	海外事業	設計監理事業	注文住宅事業	ホテル事業	不動産サービス事業	その他の事業	調整額	合計
営業収益	231,686	128,961	8,940	22,913	6,885	12,641	13,677	11,967	1,635	△ 8,391	430,918
営業利益又は営業損失(△)	74,352	575	4,716	5,519	△ 731	△ 372	△ 282	△ 1,047	98	△ 7,134	75,692

※第1四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

住宅事業グループ

過去最多の7件がグッドデザイン賞を受賞



MID OASIS TOWERS(ミッドオアシスタワーズ)

「MID OASIS TOWERS(ミッドオアシスタワーズ)」と、賃貸マンション1物件(「パークハビオ駒沢大学」)の計6物件の集合住宅に加え、住宅事業における環境戦略を研究する(株)メックeco ライフが考案した「soleco(ソレッコ)」(分譲マンションにおいて、一括高圧受電による各住戸の電気料金の低減と、同社が設置する太陽光発電による共用部の電力をセットで享受することが出来るスキーム)が受賞致しました。

当社グループでは、当社、三菱地所リアルエステートサービス(株)、藤和不動産(株)の住宅分譲事業を統合し、2011年1月に新会社「三菱地所レジデンス(株)」を設立致しますが、引き続き多様な顧客ニーズや社会の要請に応え、お客様から常に選ばれるサービス、商品を提供していくことを目指して参ります。

当社グループの住宅事業では、2010年度グッドデザイン賞(Gマーク)の選考において、過去最多の7件が受賞しました。

分譲マンション5物件(「パークハウスフォレストリエ」「パークハウス木々 津田沼前原」「パークハウス瀬田一丁目」「スタイルハウス目黒緑が丘」

海外事業グループ

「セントラル・セント・ジャイルズ」再開発プロジェクト竣工

ロンドンにおいて当社グループが英国大手保険会社 Legal & General社と共同で進めてきた「セントラル・セント・ジャイルズ」再開発プロジェクトが本年4月に竣工を迎えました。

本プロジェクトはこれまでのシティでの開発実績を基盤とした事業拡大の一環であり、当社グループ初のウェストエンド地区での再開発プロジェクトとなりました。東京の銀座メゾンエルメスや関西国際空港ターミナルを手掛けたことでも知られる世界的建築家レンゾ・ピアノ氏が設計し、6色の色鮮やかなセラミックによる外観が大きな特徴となっています。

今後もこれまでの経験やノウハウを活かし、ロンドンにおいて不動産事業を積極的に展開して参ります。



セントラル・セント・ジャイルズ

投資マネジメント事業グループ

Europa Capital Group社へ資本参加

当社は、米国子会社Rockefeller Group International社を通じ、欧州にてオフィス、住宅、商業施設等を投資対象とするファンドマネジメント会社であるEuropa Capital Group社の株式の過半を取得し、欧州における投資マネジメント事業へ進出致しました。

これまで当社は、三菱地所投資顧問(株)等の子会社を通じて

日本と米国にて投資マネジメント業務を展開してきましたが、本資本参加により日米欧における事業拠点が整い、その運用資産総額は約1.9兆円に及びます。

今後も、各拠点で培ってきた不動産投資の経験・知識・情報の相乗効果を発揮することによって、グローバルな不動産投資マネジメントのプラットフォーム構築を進めて参ります。



コーポレートブランドの展開

新CM「三菱地所を、見に行こう。」

三菱地所グループでは、2007年に策定したコーポレートブランドスローガン「人を、想う力。街を、想う力。」をテレビCMを通じて広く訴求していますが、本年9月より新CM「三菱地所を、見に行こう。」を放映しています。本CMを通じ、コーポレートブランドと三菱地所グループの企業像が重ね合わさることにより、イメージ向上に繋がりたいと考えています。

制作にあたっては「お客様に夢や感動を与える三菱地所グループ」を視聴者の方にイメージづけ、三菱地所グループをより身近に感じていただくことを狙いました。

内容は、女優の桜庭ななみさんが、当社グループのプロジェクを訪問し、そこに込められた「想い」を発見、やさしい語り口で紹介するものです。

桜庭さんが訪れたのは、丸の内：三菱一号館、横浜：ランドマークタワー、仙台：泉パークタウンの3カ所。これにプロローグとなる出発篇を加えた、4篇のシリーズでひとつの広告を構成しています。

インターネット上では、CM用のスペシャルサイトminiikou.jpを設置。CMやメイキング映像をご覧いただけるほか、新聞や交通広告等、様々なメディアで広告を展開しています。

● 新CM放送時間帯 2010年12月1日現在
 <テレビ>

全国ネット	「サンデーモーニング」 (TBS系列)	日曜日 8:00～9:54
首都圏 ローカル	「ぶらり途中下車の旅」 (日本テレビ)	土曜日 9:30～10:30
	「めざましテレビ」 (フジテレビ)	火曜日、金曜日 5:25～8:00
	「すぽると!」 (フジテレビ)	週毎に「月・水・金曜日」と 「火・木曜日」を入替 23:55～24:35(金曜日のみ 24:23～25:05)
	「報道ステーション」 (テレビ朝日)	火曜日 21:54～23:10

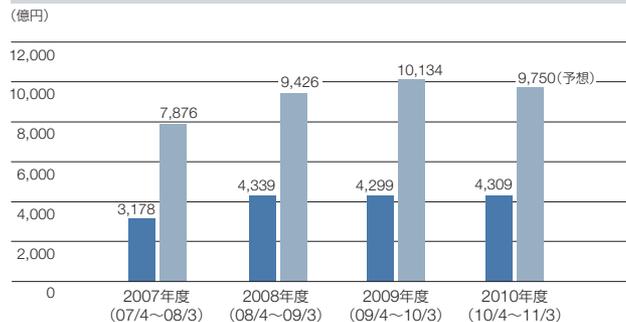
<ラジオ>

首都圏 ローカル	「MITSUBISHI JISHO Classy Café」(J-WAVE)	日曜日 19:00～19:54
-------------	---	-----------------

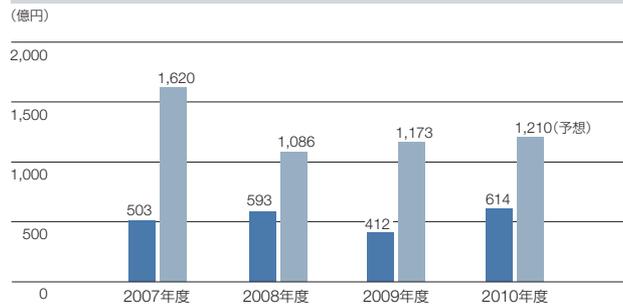
5 業績の推移(連結)

■ 第2四半期 ■ 通期** ※2010年度通期の業績は、第2四半期決算発表時の予想値です。

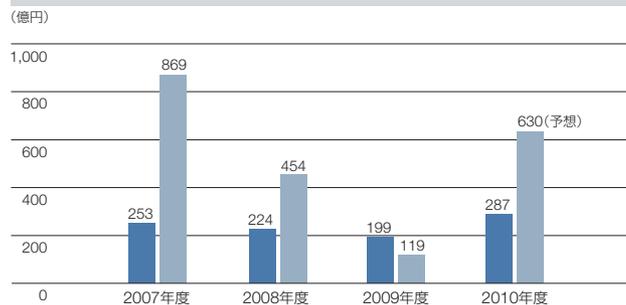
営業収益の推移



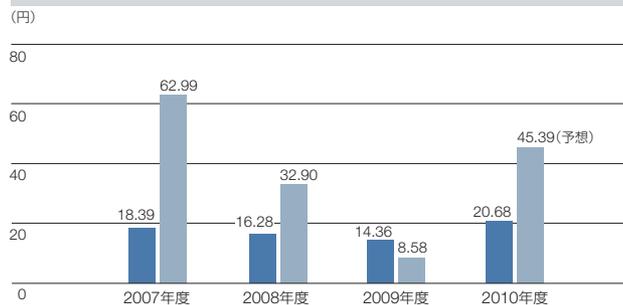
経常利益の推移



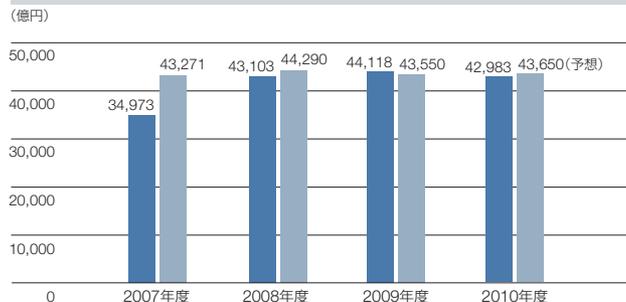
純利益の推移



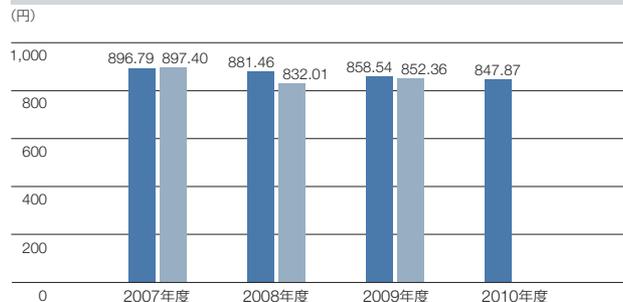
1株当たり純利益の推移



総資産の推移



1株当たり純資産の推移



連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 2010年9月30日現在	前連結会計年度末 2010年3月31日現在	科 目	当第2四半期連結会計期間末 2010年9月30日現在	前連結会計年度末 2010年3月31日現在
<資産の部>	4,298,333	4,355,065	<負債の部>	3,007,137	3,048,842
○流動資産	1,104,481	1,029,082	○流動負債	612,234	651,023
現金及び預金	155,516	175,159	支払手形及び営業未払金	65,743	78,800
受取手形及び営業未収入金	44,659	31,889	短期借入金	95,423	105,586
有価証券	4,850	3,567	1年内返済予定の長期借入金	281,477	286,169
販売用不動産	204,661	150,245	1年内償還予定の社債	39,469	39,916
仕掛販売用不動産	365,366	323,943	未払法人税等	6,915	8,472
開発用不動産	8,783	8,844	繰延税金負債	0	0
未成工事支出金	11,178	9,926	その他	123,204	132,077
その他のたな卸資産	941	814	○固定負債	2,394,902	2,397,819
エクイティ出資	235,931	226,201	社債	540,000	550,000
繰延税金資産	24,546	41,850	長期借入金	765,078	772,149
その他	48,700	57,146	受入敷金保証金	379,521	382,413
貸倒引当金	△ 654	△ 506	繰延税金負債	213,359	223,756
○固定資産	3,193,852	3,325,982	再評価に係る繰延税金負債	332,194	332,194
有形固定資産	2,773,925	2,872,021	退職給付引当金	15,838	15,570
建物及び構築物	1,960,199	1,972,256	役員退職慰労引当金	491	644
減価償却累計額及び減損損失累計額	△ 1,120,333	△ 1,096,016	負ののれん	85,031	83,705
建物及び構築物(純額)	839,865	876,239	その他	63,387	37,384
機械装置及び運搬具	80,322	80,464			
減価償却累計額及び減損損失累計額	△ 57,696	△ 56,241			
機械装置及び運搬具(純額)	22,625	24,223			
土地	1,595,354	1,652,937	<純資産の部>	1,291,196	1,306,222
信託土地	277,166	277,425	○株主資本	731,020	710,724
建設仮勘定	25,296	26,723	資本金	141,373	141,373
その他	38,429	38,018	資本剰余金	170,485	170,485
減価償却累計額及び減損損失累計額	△ 24,812	△ 23,546	利益剰余金	423,136	402,792
その他(純額)	13,616	14,472	自己株式	△ 3,974	△ 3,926
無形固定資産	94,498	95,593	○評価・換算差額等	445,859	472,432
借地権	87,827	88,665	その他有価証券評価差額金	39,867	59,729
その他	6,670	6,927	繰延ヘッジ損益	△ 536	△ 376
投資その他の資産	325,428	358,368	土地再評価差額金	458,305	458,303
投資有価証券	172,677	201,303	為替換算調整勘定	△ 51,776	△ 45,223
長期貸付金	1,746	1,769	○新株予約権	385	305
敷金及び保証金	95,606	96,017	○少数株主持分	113,931	122,760
繰延税金資産	7,484	7,757			
その他	49,746	53,374			
貸倒引当金	△ 1,832	△ 1,853			
資産合計	4,298,333	4,355,065	負債純資産合計	4,298,333	4,355,065

7 財務諸表の概要

連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	自2010年4月 1日 至2010年9月30日	自2009年4月 1日 至2009年9月30日
営業収益	430,918	429,917
営業原価	318,272	330,982
営業総利益	112,646	98,935
販売費及び一般管理費	36,953	39,836
営業利益	75,692	59,098
営業外収益	4,294	4,579
営業外費用	18,505	22,384
経常利益	61,481	41,294
特別利益	—	1,263
特別損失	3,520	—
税金等調整前四半期純利益	57,960	42,558
法人税、住民税及び事業税	7,049	7,144
法人税等調整額	18,734	11,553
法人税等合計	25,784	18,698
少数株主損益調整前四半期純利益	32,176	23,859
少数株主利益	3,476	3,939
四半期純利益	28,700	19,920

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
	自2010年4月 1日 至2010年9月30日	自2009年4月 1日 至2009年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	43,750	7,777
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 16,007	△ 60,992
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 46,775	△ 26,843
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 259	1,164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 19,291	△ 78,893
現金及び現金同等物の期首残高	177,825	184,552
連結除外に伴う 現金及び現金同等物の減少額	—	△ 516
現金及び現金同等物の 四半期末残高	158,533	105,142

貸借対照表 (単体)

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期会計期間末 2010年9月30日現在	前事業年度末 2010年3月31日現在
<資産の部>	3,368,617	3,422,062
流動資産	934,770	954,402
固定資産	2,433,847	2,467,659
資産合計	3,368,617	3,422,062
<負債の部>	2,234,175	2,288,911
流動負債	446,487	459,475
固定負債	1,787,687	1,829,436
<純資産の部>	1,134,442	1,133,150
株主資本	636,245	615,199
資本金	141,373	141,373
資本剰余金	170,485	170,485
利益剰余金	328,263	307,227
自己株式	△ 3,877	△3,886
評価・換算差額等	497,811	517,645
その他有価証券評価差額金	39,887	59,724
土地再評価差額金	457,923	457,921
新株予約権	385	305
負債純資産合計	3,368,617	3,422,062

損益計算書 (単体)

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 自2010年4月 1日 至2010年9月30日	前第2四半期累計期間 自2009年4月 1日 至2009年9月30日
営業収益	237,603	218,468
営業利益	57,066	39,430
営業外収益	6,454	8,180
営業外費用	14,766	15,981
経常利益	48,754	31,629
特別利益	—	1,263
特別損失	1,385	—
税引前四半期純利益	47,368	32,893
法人税等	17,975	10,762
四半期純利益	29,393	22,130

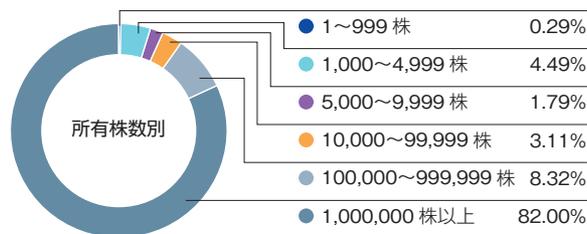
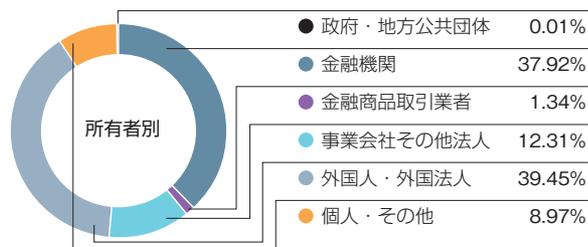
株式の状況

発行可能株式総数	1,980,000,000株
発行済株式の総数	1,390,397,097株
	(前年度末比 増減なし)
株 主 総 数	79,379名
	(前年度末比 154名減)

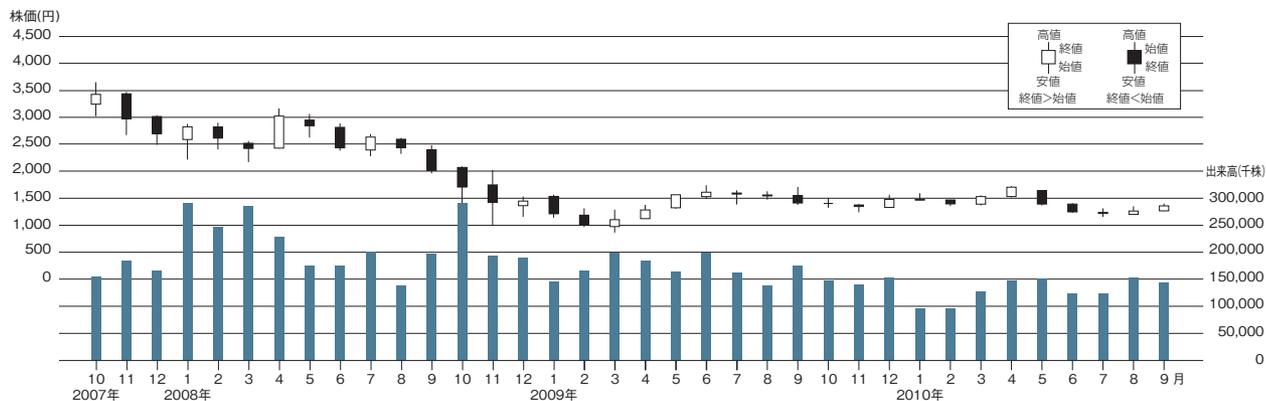
大株主

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株)信託口	112,539	8.09
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	61,439	4.41
明治安田生命保険(相)	50,142	3.60
東京海上日動火災保険(株)	38,819	2.79
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	26,232	1.88
(株)三菱東京UFJ銀行	25,963	1.86
CBLDN STICHTING PGGM DEPOSITORY	23,509	1.69
旭硝子(株)	22,714	1.63
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT – TREATY CLIENTS	18,934	1.36
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505225	18,163	1.30

株式分布状況 (株式数構成比率)



株価及び出来高の推移



(注)東京証券取引所市場における株価及び出来高を表示しております。

商 号 三菱地所株式会社
MITSUBISHI ESTATE CO., LTD.

設 立 1937年5月7日
資 本 金 141,373,214,071円
従 業 員 数 1,429名

本 店
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 (〒100-8133)
大手町ビル TEL (03) 3287-5100

札幌支店
札幌市中央区北二条西四丁目1番地 (〒060-0002)
北海道ビル TEL (011) 221-6101

東北支店
仙台市青葉区国分町三丁目6番1号 (〒980-0803)
仙台パークビル TEL (022) 261-1361

横浜支店
横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 (〒220-8115)
横浜ランドマークタワー TEL (045) 224-2211

名古屋支店
名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 (〒450-0002)
大名古屋ビル TEL (052) 565-7111

大阪支店
大阪市北区天満橋一丁目8番30号 (〒530-6033)
OAPタワー TEL (06) 6881-5160

中国支店
広島市中区大手町三丁目7番5号 (〒730-0051)
広島パークビル TEL (082) 245-1241

九州支店
福岡市博多区中洲五丁目6番20号 (〒810-0801)
明治安田生命福岡ビル TEL (092) 281-6321

※本年12月上旬に下記へ移転予定です。

福岡市中央区天神一丁目6番8号 (〒810-0001)
天神ツインビル TEL (092) 731-2211

役 員

<取締役・監査役>

代表取締役社長 木 村 惠 司
代表取締役 飯 塚 延 幸
代表取締役 長 島 俊 夫
代表取締役 檀 野 博
代表取締役 河 野 雅 明
代表取締役 伊 藤 裕 慶
代表取締役 柳 澤 裕
代表取締役 杉 山 博 孝
取 締 役 小 野 真 路
取 締 役 松 橋 功
取 締 役 常 盤 文 克
取 締 役 五 味 康 昌
取 締 役 富 岡 秀
常 勤 監 査 役 丹 英 司
常 勤 監 査 役 長 谷 川 和 彦
監 査 役 波 多 健 治 郎
監 査 役 内 海 暎 郎

<執行役員>

社長執行役員 木 村 惠 司
副社長執行役員 飯 塚 延 幸
専務執行役員 長 島 俊 夫
専務執行役員 檀 野 博
専務執行役員 河 野 雅 明
専務執行役員 八木橋 孝 男
専務執行役員 伊 藤 裕 慶
専務執行役員 柳 澤 裕
専務執行役員 杉 山 博 孝
常務執行役員 柴 垣 讓 男
常務執行役員 大 内 政 彦
常務執行役員 風 間 利 彦
常務執行役員 小 野 真 路
常務執行役員 加 藤 讓 人
常務執行役員 合 場 直 人
執 行 役 員 藤 原 康 雄
執 行 役 員 渡 会 一 郎
執 行 役 員 小 野 恩
執 行 役 員 藤 澤 司 朗
執 行 役 員 林 総 一 郎
執 行 役 員 東 條 隆 郎
執 行 役 員 清 沢 光 司
執 行 役 員 豊 泉 正 雄
執 行 役 員 藪 和 之
執 行 役 員 岩 田 研 一
執 行 役 員 興 野 敦 郎
執 行 役 員 狩 野 大 和
執 行 役 員 荒 畑 和 彦
執 行 役 員 大 草 透
執 行 役 員 田 島 穰

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
(電話問合わせ)	東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081)
(郵便物送付先)	三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 TEL(0120)232-711(通話料無料) 受付時間:午前9時~午後5時(土曜日・日曜日・祝祭日を除く)
旧藤和不動産株主様のための特別口座の口座管理機関*	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
(電話問合わせ)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
(郵便物送付先)	中央三井信託銀行株式会社証券代行部 TEL(0120)78-2031(通話料無料) 受付時間:午前9時~午後5時(土曜日・日曜日・祝祭日を除く)
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載致します。) 電子公告掲載アドレス http://www.mec.co.jp/j/group/koukoku/index.htm 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

※当社は、2009年4月30日を効力発生日とする藤和不動産㈱との株式交換に伴い、株券電子化制度施行時に同社が開設した特別口座に係る地位を承継していることから、旧藤和不動産株主様のための特別口座の口座管理機関は引き続き中央三井信託銀行㈱となります。

【株式事務に関するご案内】

1. 証券会社等の口座に記録された株式

株券電子化に伴い、お届住所等のご変更、配当金の受領方法のご指定、単元未満株式の買取及び買増のご請求等、株主様の各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)が窓口となりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行㈱)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記「特別口座の口座管理機関」が窓口となりますのでお問合わせ下さい。

3. 未受領の配当金のお支払について

未受領の配当金は、上記1及び2のいずれの株式につきましても三菱UFJ信託銀行㈱の本店でお支払い致します。

表紙: コーポレートブランド新広告「三菱地所を、見に行こう。」



人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所のホームページアドレス
<http://www.mec.co.jp/>